ご寄附の申込方法

オンラインまたは書面によりお申込みいただけます。

01 オンラインによるご寄附

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy決済をご利用いただけます。
本校ホームページからお申込みください。

※寄附金受領証(領収書）の受領年月日は、寄附申込完了日やクレジットカード利用日
ではなく、決済代行会社から本校へ寄附金が入金された日となります。
寄附金控除を希望される場合はご注意ください。

02 書面手続きによるご寄附

申込書は本校ホームページからダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、
メール、郵送、FAX又は持参によりお申し込みください。
申込書の提出及び寄附金の入金を確認後、本校より寄附金受領証（領収書）
を送付します。

・指定口座への直接振込

申込書を確認後、本校から振込先をご案内します。指定口座へお振込みください。

・払込依頼書（広島銀行）による振込

本校指定の払込依頼書によるお振込みをご希望の方は、申込書をご提出の際に、
その旨をお知らせください。払込依頼書を郵送いたします。

※払込依頼書は、ゆうちょ銀行ではご利用いただけません。
また、一部の金融機関ではお取り扱いできない場合があります。

税制上の優遇措置

本校へのご寄附は、税制上の優遇措置の対象となります。

法人の場合

当該事業年度の損金算入限度額内で、寄附金の全額を損金に算入することができます。

個人の場合

本校が発行する「寄附金受領証（領収書）」を添えて 税務署へ確定申告を行うことにより、
所得税と個人住民税の両方の控除を受けることができ、税負担額が軽減されます。
※住民税の控除は、お住まいの都道府県・市区町村が、条例で本校を寄附金控除の対象
としている場合に適用されるなど、その取り扱いが異なります。

お問い合わせ先

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野4272-1
広島商船高等専門学校　総務課総務企画係
TEL：0846-67-3004　FAX：0846-67-3009
E-mail：koho@hiroshima-cmt.ac.jp

詳しくはこちら
本校ホームページ

広島商船高等専門学校基金

令和８年度

校長からのメッセージ



広島商船高等専門学校長

逸見　真

皆々様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また日頃より本校における学生教育及び指導へのご理解及びご支援とを賜り、誠にありがたく存じます。

広島商船高等専門学校のある大崎上島は、広島県に位置します。本校は文明開化の覚めやらぬ明治３１年(1898)、欧米型近代海運に従事する船員の養成を使命に開校した、芸陽海員学校を始祖とします。

「商船」の名を冠する現在の本校は、創基以来の伝統を引き継ぐ商船学科に加えて、令和７年春、これまでの電子制御、流通情報の工学系学科を融合させた総合科学科を設立致しました。本学科はデータサイエンス、AI、DX他、現在そして未来のものづくり及び物流の基盤を形成する学問領域を取り込み、実務界の即戦力となる人材の育成を目指しています。

また令和８年３月１１日、本校練習船広島丸代船の起工式が、住友重機械工業横須賀造船所にてつつがなく挙行されました。新しい練習船は国による国土強靭化の方針の下、災害時の人員物資の輸送等、支援機能を兼ね備える予定であり、竣工を令和１０年初春と見込んでおります。加えて５００名弱の学生が起居する若潮寮には新棟建設の計画も進んでおります。

その一方で本校施設には老朽化が目立ち、国からの交付金をその改補修に充てざるを得ない現状に加え、折からの諸物価の高騰が常態化している学校経費、予算不足を更に逼迫させております。こうした事情は特に学生の教育及び課外活動に係る諸経費、練習船運航に必要な整備燃料費の捻出に困難を強い、一層の倹約と新たな財源の確保とが求められているところです。昨今の社会的な課題の中でも急速に進む少子化の影響により、学生定員の確保は年々、困難を極めつつありますが、健全な学校運営こそがこうした難題解決の最善の施策と確信し、そのための経費、予算の充実は本校の生き残りにとり不可欠と申し上げても過言ではございません。

財政緊縮の時節柄、かようなお願いこそ不躾の極みと重々承知しつつも、皆々様には切にご支援を賜りたく、敢えて格別のご厚誼をお願い致す所存です。

末筆ながら、謹んで皆々様のますますのご隆盛とご発展とを祈念申し上げます。

基金趣意書

1．設立の趣旨

広島商船高等専門学校（以下「本校」という。）は、瀬戸内海に位置する我が国有数の海事教育機関として、これまで長年にわたり、商船分野をはじめとする高度な専門教育と実践的研究を通じ、海事・産業界及び地域社会の発展に寄与する人材を育成してまいりました。

近年、教育・研究を取り巻く環境は大きく変化しており、国際化の進展、技術革新の急速な進歩、地域社会との連携の深化など、高等教育機関に求められる役割は一層高度化・多様化しております。本校においても、教育研究活動のさらなる充実と、学生一人ひとりが主体的に学び、挑戦できる環境の整備が不可欠となっております。

このような背景を踏まえ、本校では、教育研究活動等を幅広く支援し、その質の向上と持続的な発展を図ることを目的として、「広島商船高等専門学校教育研究等支援事業基金」（以下基金）を設置いたしました。

2．基金の目的

本基金は、本校の教育研究活動をはじめ、国際交流、課外活動、産学官連携や地域・社会貢献活動、さらには学校施設・寄宿舎・練習船等の環境整備を支援することにより、学生の学修環境及び教職員の教育研究環境の一層の充実を図ることを目的としています。

皆様からのご寄附を原資として、将来を担う学生たちが夢と志を持ち、専門性と人間性を兼ね備えた人材へと成長するための基盤づくりに活用してまいります。

3．基金の概要と活用内容

本基金は、寄附者のご意向に応じ、次の２つの区分により運営されます。

（１）一般基金

使途を特定しない寄附を原資とし、次のような事業に幅広く活用します。

・教育研究活動への支援　　・産学官連携活動及び地域・社会貢献活動への支援
・国際交流活動への支援　　・学校施設、寄宿舎及び練習船の環境整備・美化
・課外活動への支援　　・その他、本基金の目的達成に必要な事業

（２）プロジェクト基金

特定の事業目的を指定した寄附を原資とし、その目的に限定して活用します。
特色ある教育研究プロジェクトや記念事業など、寄附者の思いを具体的な形にする基金として運用します。

4．基金の管理・運営

本基金は、教育研究等支援事業基金運営委員会において、執行方針や事業計画、予算・決算等を審議し、適正かつ透明性の高い管理・運営を行います。 また、事業の成果については、ホームページ等を通じて公表し、社会への説明責任を果たしてまいります。

5．ご支援のお願い

本校がこれからも時代の要請に応え、社会に貢献する高等専門教育機関として歩み続けるためには、皆様の温かいご理解とご支援が欠かせません。
本基金の趣旨にご賛同いただき、本校の教育研究活動のさらなる発展と、未来を担う学生たちの成長のために、格別のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

寄附のかたちを選ぶ

Choose Your Impact

A　一般基金

- **使い道を指定しないご寄附**

学生の学びや成長を支えるため、教育・研究、国際交流、課外活動、施設整備などに広く活用します。

B　プロジェクト基金

- **応援したいプロジェクトを選んで支援するご寄附**

❶ 練習船「広島丸」代船建造記念式典プロジェクト



練習船「広島丸」の代船建造に伴い、完成を広く周知するとともに、関係者への感謝の意を表するため、記念式典を実施するプロジェクトです。

募集期間：令和8年5月1日～令和10年3月31日
（実施期間：令和8年度～令和10年度）

※実施期間終了後に残額が生じた場合は、一般基金として活用させていただきます。

❷ 新学生寮の環境整備プロジェクト

新しい学生寮で使用するベッドなどの家具・備品を整備し、学生が安心して生活できる環境づくりを進めます。



募集期間：令和8年5月1日～令和10年3月31日
（実施期間：令和8年度～令和10年度）

※実施期間終了後に残額が生じた場合は、一般基金として活用させていただきます。

ご寄附について

ご寄附は口数単位でのお申し込みとなります。

金 額

個人	1口	5,000円（口数上限なし）
法人	1口	100,000円（口数上限なし）